

厚木市地域福祉計画（第5期）の策定に係る意見交換会について

政策等の議題(テーマ) の名称及び検討事項		厚木市地域福祉計画(第5期)の策定に係る意見交換会	
開催日時		令和2年8月23日(日) 午後1時30分から午後3時まで	
開催場所		厚木市保健福祉センター 6階 ホール	
出席者数		15人	
担当課	福祉総務課	結果公開日	令和2年9月4日
会議の経過		1 開会 2 計画の概要(案)説明 3 意見交換 4 閉会	
	質問・意見の概要	市の考え方	
1	生活支援コーディネーターとは何か。	地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者のことです。 主に、社会資源の把握、地域に不足するサービスの創出や担い手の養成等の資源開発や地域の支援ニーズと取組のマッチングなどを行っています。	
2	地域福祉コーディネーターは、 どういった方をお願いしているのか。 選任する基準があるか。	資格要件等はありませんが、地域において福祉サービスを必要とされる人のニーズを把握し、サービスや住民による支え合いの活動等につなぎ、地域での生活を支えるネットワークづくりを進めることができる者のことです。 本市では、社会福祉協議会の職員が担っています。	
3	「障がい」と「障害」の表記の違いは何か。	原則的には、平仮名で表記しています。 ただし、法令用語や団体名等の固有名詞の場合は、漢字で表記しています。	

4	<p>聞こえない、聞こえづらい方に対する優しいまちづくりをしてほしい。聞こえに問題を持つ方は、日常生活でコミュニケーションが取れずに困ることが多くある。</p> <p>認知症サポーター養成講座のように、文字サポというより良いコミュニケーションを広めるための研修ツールがあるので採用してほしい。</p>	<p>今後の取組において参考にさせていただきます。</p>
5	<p>SDGsの推進を図る計画とはどのような考えを持っているか。</p>	<p>地域福祉計画は、2015年に国連サミットで採択された、持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための国際目標(SDGs)との整合を図る計画として位置付けています。</p> <p>17の開発目標のうち、①貧困をなくそう、③すべての人に健康と福祉を、⑩人や国の不平等をなくそう、⑪住み続けられるまちづくりをなどが該当すると考えています。</p>
6	<p>災害が起きた時の支援について、地区によっては範囲が広いので高齢者が避難所まで行くのが大変である。自分が住んでいるところから1キロ以内に避難所として行政が指定してもらえば非常にありがたい。</p>	<p>市では、災害対策基本法に基づき避難行動要支援者名簿を作成し、平常時から避難行動の支援をしています。</p> <p>近年の豪雨災害では、これまでの避難所に避難することを前提とした発想を変え、自宅や近所などの2階以上の安全な場所に垂直避難することも求められています。</p> <p>避難所に避難する必要がある場合には、避難支援等関係者のほか、隣近所の方々が見守り協力者として支援していただける日頃からの関係づくりも必要と考えています。</p>

7	<p>見守りをする側も、「お元気ですか」と直接訪問しづらい状況にある。地域の人たちが、御近所を少しでも気にしてもらえればと心の底から思っている。</p>	<p>地域福祉計画(第4期)では、日頃からのお付き合いの中で、御近所の変化を気にかけて、何かあった時に手を差し伸べていただくような「ゆるやかな見守り活動」を市民の皆様をお願いしています。</p>
8	<p>御近所との付き合いも、最近では、なかなかできない。相互理解の不足もあり、何か言うと、出しゃばりだとか、言われる時代である。そういう世の中だからこそ、地域とつながり、災害時にあの人どうしたかしら、お互い広い心で近所の人と付き合い、いい意味のおせっかいをして生活をしていきたいと改めて思った。</p> <p>自分らしく最期まで生活したいと皆思っている。</p>	<p>そういったお気持ちを持った方が一人でも増えるような取組をしていきたいと考えており、第5期の計画においても明確に位置付けてまいります。</p>
9	<p>相互理解の促進について、判断能力が不十分な方が今後多くなっていくと思われる。そういう方に対して、いきなり排除ではなく、少しずつ理解していくことが大切と思う。</p> <p>「何かあったのかな」、「困っているのかな」そこから始めていきましょう。</p>	
10	<p>本施策の有効性について、2040年は、当日参加した人のほとんどが介護される側になっている。その時に担う世代＝今の中・高生の参加は見受けられなかったが、本当に彼らに届くのだろうか。</p> <p>その時に彼らに「この施策で良かった」と思ってもらえるだろうか。今一度、その視点から考えて欲しい。「こんな使えない制度ばかり」なんて思って欲しくない。</p>	<p>本計画の推進に当たっては、未来を担う若い世代が本計画で位置付けた各施策を身近なこととして受け止めてもらい、共に将来像の実現に向けて取り組めるよう、関係機関と連携し、協働して取り組んでまいります。</p>

